

平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング

コード番号 6638 URL <http://www.mimaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野口 幹夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 小林 修

TEL 0268-64-2281

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,717	2.3	437	30.3	479	39.8	240	294.9
23年3月期第3四半期	19,264	12.5	628	—	343	—	61	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 130百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 307百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3,611.71	—
23年3月期第3四半期	916.14	914.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,560	5,996	24.3
23年3月期	22,355	6,221	27.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,961百万円 23年3月期 6,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	700.00	—	700.00	1,400.00
24年3月期	—	700.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	700.00	1,400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	3.4	207	70.4	270	23.2	297	106.0	4,451.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	69,600 株	23年3月期	69,600 株
----------	----------	--------	----------

期末自己株式数

24年3月期3Q	2,884 株	23年3月期	2,884 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	66,716 株	23年3月期3Q	66,611 株
----------	----------	----------	----------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国における債務問題の深刻化を背景とする急激なユーロ安の進行と米国景気の低迷継続により、東日本大震災の影響からの立ち直りに伴う日本国内の需要回復の動きが見られたものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは“ユーザー視点で取組む”をスローガンに掲げ、お客様のオンデマンド・ビジネスをサポートするための施策を積極的に展開いたしました。

具体的施策としましては、SG市場向けでは、主力のエントリーモデルから高速・高画質の上位機種までのラインナップによる拡販に努め、IP市場向けでは、UV硬化インクと製品本体のラインナップを充実させ、お客様の多様なニーズに応え得る商品の販売に努める等、インクジェットプリンタとカッティングプロッタによるオンデマンド生産の提案、推進を継続いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は197億17百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は4億37百万円（同30.3%減）となりましたが、為替予約による為替差益が発生したこと等により、経常利益は4億79百万円（同39.8%増）、四半期純利益は2億40百万円（同294.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、従来「その他」に区分しておりましたブラジルの現地法人の事業活動については、量的な重要性が増したため、第2四半期連結会計期間より区分表示を「中南米」に変更しており、以下の前年同四半期比較については、変更後の報告セグメントの区分に基づき行っております。

（日本）

日本におきましては、10ヶ所の営業拠点による日本国内とアジア・パシフィック地域（一部を除く）向けの販売を展開しております。東日本大震災以降の復興の遅れ等から、依然として日本国内では景気の低迷が続いており、また、アジア・パシフィック地域においては、円高の影響による実質的な値上げとなり需要は低迷いたしました。その結果、外部顧客に対する売上高は89億55百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は2億42百万円（同59.5%減）となりました。

（北米）

北米におきましては、販売子会社MIMAKI USA, INC. の4つの拠点を中心とした販売・サービス体制で展開を行っております。主力のアメリカ国内においては、引き続き円高ドル安の影響を受けたことで売上高は低迷いたしました。その結果、外部顧客に対する売上高は現地通貨建てでは増加しているものの、24億45百万円（同4.1%減）、営業利益は36百万円（同54.7%減）となりました。

（欧州）

欧州におきましては、地域各国への販売を行う子会社MIMAKI EUROPE B.V. とドイツにおける販売子会社Mimaki-nbn GmbHによって展開しております。SG市場向けにおいて、主力のエントリーモデルを中心とした製品本体に加え、インク等消耗品の販売も堅調に推移した結果、売上高を順調に確保いたしました。その結果、外部顧客に対する売上高は65億75百万円（同3.4%増）、営業利益は70百万円（同33.7%減）となりました。

（アジア）

アジアにおきましては、部品調達、インク組立及び台湾での製品販売を行う子会社台湾御牧股份有限公司、プリンタを中心に当社グループ製品を製造する中国の御牧噴墨打印科技（浙江）有限公司、中国での製品販売を行う上海御牧貿易有限公司等の体制で展開し、製造・販売ともに注力いたしました。その結果、外部顧客に対する売上高は9億24百万円（同224.7%増）、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失1億30百万円）となりました。

（中南米）

中南米におきましては、ブラジルにおける販売子会社MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDAにおいて、販売体制の整備と販売推進に注力いたしました。その結果、外部顧客に対する売上高は8億15百万円（前年同期比56.1%増）、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における機種群別の売上は次のとおりであります。

〔機種群別売上高〕

	売上高（百万円）	構成比率（%）	対前年同期増減率（%）
S G 市 場 向 け	12,615	64.0	0.5
I P 市 場 向 け	3,928	19.9	△1.5
T A 市 場 向 け	1,265	6.4	18.1
そ の 他	1,907	9.7	15.0
合 計	19,717	100.0	2.3

[品目別売上高]

	売上高（百万円）	構成比率（％）	対前年同期増減率（％）
製 品 本 体	9,812	49.8	△0.3
イ ン ク	6,785	34.4	4.7
そ の 他	3,119	15.8	6.1
合 計	19,717	100.0	2.3

（SG市場向け）

既存製品を中心に拡販に努めた結果、製品本体、インク等消耗品のいずれも堅調な推移となりましたが、地域別においては、引き続き好調な推移を続けた新興国や欧州地域、依然として景気の低迷が続く日本国内が混在する結果となったため、売上高全体の伸長は小幅なものに止まりました。その結果、売上高は126億15百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

（IP市場向け）

LED-UV方式による省電力や環境対応に優れたUV硬化インクを使用するインクジェットプリンタの中でエントリーモデルは堅調に推移し、インク等消耗品も増加しましたが、高額機種の製品本体は伸び悩みました。その結果、売上高は39億28百万円（同1.5%減）となりました。

（TA市場向け）

高速化、低ランニングコスト化を実現したデジタル捺染インクジェットプリンタTx400-1800D、伸縮素材の安定搬送を実現する機能を持ったTx400-1800B等の既存製品が伸び、更にインク等消耗品も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は12億65百万円（同18.1%増）となりました。

（2）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。今後の業績予想値に修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,597,319	4,466,536
受取手形及び売掛金	4,894,663	4,735,874
商品及び製品	5,259,716	5,437,797
仕掛品	341,737	720,987
原材料及び貯蔵品	1,418,894	1,519,380
繰延税金資産	266,872	198,679
その他	576,595	1,005,439
貸倒引当金	△124,569	△130,203
流動資産合計	15,231,230	17,954,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,021,775	2,876,822
土地	1,304,269	1,304,269
その他（純額）	1,408,516	1,268,845
有形固定資産合計	5,734,562	5,449,937
無形固定資産		
のれん	27,566	—
その他	296,418	275,491
無形固定資産合計	323,984	275,491
投資その他の資産		
繰延税金資産	300,131	265,572
その他	815,901	650,947
貸倒引当金	△50,295	△35,493
投資その他の資産合計	1,065,737	881,027
固定資産合計	7,124,284	6,606,456
資産合計	22,355,514	24,560,948
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,442,470	6,223,309
短期借入金	4,941,300	5,482,300
1年内返済予定の長期借入金	955,540	1,169,200
未払法人税等	40,888	182,325
賞与引当金	317,362	161,204
役員賞与引当金	—	8,413
製品保証引当金	172,405	160,192
資産除去債務	—	38,967
その他	2,133,756	2,041,545
流動負債合計	13,003,723	15,467,458
固定負債		
長期借入金	2,367,184	2,434,299
退職給付引当金	327,996	333,034
資産除去債務	49,209	10,279
その他	386,308	319,094
固定負債合計	3,130,698	3,096,707
負債合計	16,134,421	18,564,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,168	2,015,168
資本剰余金	1,905,129	1,905,129
利益剰余金	3,136,945	3,284,502
自己株式	△192,906	△192,906
株主資本合計	6,864,336	7,011,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,072	△10,072
為替換算調整勘定	△672,303	△1,040,169
その他の包括利益累計額合計	△678,376	△1,050,242
新株予約権	35,131	35,131
純資産合計	6,221,092	5,996,782
負債純資産合計	22,355,514	24,560,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	19,264,985	19,717,015
売上原価	11,174,078	11,484,843
売上総利益	8,090,907	8,232,172
販売費及び一般管理費	7,462,388	7,794,391
営業利益	628,519	437,780
営業外収益		
受取利息	5,172	12,111
受取配当金	3,728	1,423
為替差益	—	207,001
その他	33,284	37,306
営業外収益合計	42,185	257,843
営業外費用		
支払利息	64,023	64,761
売上割引	40,735	40,063
為替差損	150,764	—
持分法による投資損失	62,073	107,325
その他	10,037	3,849
営業外費用合計	327,635	216,000
経常利益	343,069	479,622
特別利益		
固定資産売却益	14,901	33,489
貸倒引当金戻入額	41,463	—
退職給付制度改定益	—	64,193
特別利益合計	56,365	97,683
特別損失		
固定資産売却損	201	497
固定資産除却損	2,643	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,312	—
特別損失合計	61,156	497
税金等調整前四半期純利益	338,278	576,809
法人税、住民税及び事業税	41,453	234,198
法人税等調整額	235,800	101,651
法人税等合計	277,253	335,850
少数株主損益調整前四半期純利益	61,025	240,958
四半期純利益	61,025	240,958

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,025	240,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,913	△4,000
為替換算調整勘定	△355,596	△368,284
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,616	417
その他の包括利益合計	△368,125	△371,866
四半期包括利益	△307,100	△130,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△307,100	△130,907

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。